



—危機管理情報—

マダニが媒介する感染症「日本紅斑熱」に注意しましょう！
～今年5例目の「日本紅斑熱」患者が確認されました～

1 要旨

熱海市在住の70歳代女性が9月11日に山林に行った後に、発熱、全身の倦怠感、食欲不振を認め、17日に県熱海保健所管内の医療機関を受診し、入院しました。腕や背中に発疹が認められたことから、ダニが媒介する感染症の疑いがあるため、血液、痂皮及び皮疹部を検体として県環境衛生科学研究所で検査を行い、20日に日本紅斑熱の病原体遺伝子が検出され、日本紅斑熱であることが確認されました。

患者はマダニに咬まれた自覚はありませんでしたが、診察において左上腕部にマダニの刺し口が認められたこと、また、半袖で山林に行ったことや家庭菜園をしていたことから、日本紅斑熱の病原体を保有するマダニに咬まれたことにより感染したと推定されています。

患者は現在入院加療中であり、快方に向かっています。

県内で日本紅斑熱の患者が確認されたのは、今年に入ってから5例目です。春から秋にかけてマダニの活動が盛んになる時期です。レジャーや農作業などで野山や草むら、畑などに入るとマダニに咬まれることがあります。マダニが病原体を保有していると、咬まれた人が「日本紅斑熱」、「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」などの感染症にかかる危険性があります。これらの疾患にかからないようにするために、野外でのダニ対策が重要です。

特に、日本紅斑熱患者の発生が多い5月頃から11月頃までの時期は、野山や畑等の屋外でマダニに咬まれないよう十分注意しましょう。また、屋外を出入りする犬や猫等に付着したマダニに屋内で咬まれないよう注意しましょう。

※ 報道機関各位におかれましては、患者及び患者家族等について、本人等が特定されることのないよう、格別の御配慮をお願いします。

2 日本紅斑熱について

(1) 感染経路

- 日本紅斑熱リケッチアという病原体を保有する **マダニに咬まれることで感染します。**
- **人から人へ感染して広がることはありません。**

(2) 症状・治療

- マダニに咬まれてから2～8日で、**発熱、発疹**を呈し、重症化すると死に至ることもあります。
- **治療の第一選択薬はテトラサイクリン系抗菌薬で、ニューキノロン系抗菌薬が有効**という報告もあります。

3 県内の日本紅斑熱の患者数（令和4年は9月21日現在）

本県では、平成12年から令和4年まで46名の患者が届出されており、届出患者の住所地は、県東部35名、県中部1名及び県西部4名、その他（県外）が6名。

年次	全国	静岡県 () 内は死亡患者 数再掲	患者 性別・年代・住所地・発生月
平成12年 (2000年)	38	1	1. 男・60歳代・沼津市・9月
平成25年 (2013年)	175	1	1. 女・60歳代・伊豆の国市・7月
平成27年 (2015年)	215	2 (1)	1. 男・60歳代・沼津市・8月 2. 女・70歳代・伊豆の国市・6月※1
平成28年 (2016年)	277	2 (1)	1. 男・70歳代・伊東市・11月 2. 女・70歳代・沼津市・5月※1
平成29年 (2017年)	337	6 (2)	1. 女・80歳代・熱海市・6月 2. 男・50歳代・伊豆の国市・9月 3. 女・70歳代・沼津市・9月※1 4. 男・70歳代・沼津市・9月 5. 女・80歳代・沼津市・9月※1 6. 女・70歳代・沼津市・10月
平成30年 (2018年)	305	3	1. 男・50歳代・三島市・3月 2. 男・70歳代・伊東市・8月 3. 女・70歳代・伊東市・10月
			1. 男・70歳代・神奈川県湯河原町・5月

令和元年 (2019年)	318	10(1)	2. 女・70歳代・熱海市・5月 3. 女・50歳代・県西部地区・6月 4. 女・70歳代・伊豆の国市・7月※1 5. 女・70歳代・熱海市・7月 6. 女・40歳代・掛川市・9月 7. 男・60歳代・熱海市・10月 8. 女・70歳代・駿東郡清水町・10月 9. 男・20歳代・伊東市・10月 10. 女・70歳代・浜松市・11月
令和2年 (2020年)	421	8	1. 女・70歳代・熱海市・5月 2. 男・50歳代・熱海市・5月 3. 女・90歳代・熱海市・7月 4. 女・90歳代・南伊豆町・7月 5. 男・70歳代・県外・8月 6. 男・70歳代・熱海市・9月 7. 女・70歳代・湖西市・10月 8. 女・80歳代・熱海市・10月
令和3年 (2021年)	487	8(1)	1. 女・70歳代・県外・5月 2. 男・10歳代・沼津市・6月 3. 女・80歳代・伊東市・7月※1 4. 女・30歳代・県外・8月 5. 男・70歳代・県外・8月 6. 男・60歳代・牧之原市・9月 7. 男・40歳代・県外・10月 8. 男・70歳代・伊東市・10月
令和4年 (2022年)	260 (※2)	5	1. 男・20歳代・賀茂保健所管内・6月 2. 女・70歳代・熱海保健所管内・6月 3. 男・80歳代・熱海保健所管内・8月 4. 女・70歳代・熱海保健所管内・8月 5. 女・70歳代・熱海市・9月←今回

平成30年の3例は、平成29年10月に発症したが、検体量が少なく平成30年に入って診断された1例を含む。
※1 亡くなられた方。 ※2 全国の人数は令和4年9月18日時点。

4 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について

(1) 概要

- 感染経路は、SFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることが中心ですが、血液等の患者体液との接触や、マダニに咬まれSFTSウイルスに感染している犬や猫の体液から感染することも報告されています。
- マダニに咬まれてから、6日から14日の潜伏期間の後、発熱、消化器症状などが現れ、重症化した場合には、死に至ることもあります。
- 県内では、令和3年3月5日に初めて患者が報告され、令和3年に4例（県西部地域2例、中部地域2例）、今年（令和4年）は6例（県西部地域4例、中部地域1例、東部地域1例）が報告されています。なお、東部地域1例の推定感染地域は西部地域です。

(2) 過去の患者数 (人)

年次	全国	静岡県	患者（性別・年代・住所地・発生日）
平成28年 (2016年)	60	0	—
平成29年 (2017年)	90	0	—
平成30年 (2018年)	77	0	—
令和元年 (2019年)	101	0	—
令和2年 (2020年)	78	0	—
令和3年 (2021年)	110	4	1. 男・60歳代・中部地域・3月 2. 男・高齢・浜松市・5月 3. 女・60歳代・静岡市駿河区・6月 4. 男・高齢・西部地域・10月
令和4年 (2022年)	98 (※1)	6	1. 女・高齢・西部地域・3月 2. 男・80歳代・焼津市・4月 3. 男・高齢・浜松市北区・6月 4. 女・高齢・周智郡森町・6月 5. 男・高齢・西部保健所管内・7月 6. 女・高齢・東部保健所管内・8月 (推定感染地域は西部地域)

※1 全国の人数は令和4年9月18日時点。

注意喚起

(1) マダニに咬まれないようにしましょう！

- 特にマダニの活動が盛んな、春から秋にかけて注意が必要です。

- **野山や草むら、畑など**に入る場合は、耳を覆う帽子、首に巻くタオル、**長袖、長ズボン**、足を完全に覆う靴を着用し、**肌の露出を少なく**してください。
- マダニ用に市販されている忌避剤はありますが、マダニの付着を完全に防ぐことはできませんので、他の防護手段と組み合わせて対策を取りましょう。

(2) 屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認しましょう！

- マダニに咬まれた場合は、数日間、体調の変化に注意しましょう。
- 発熱・発疹の症状が見られたら、**早めに医療機関を受診**し、マダニに咬まれた可能性があることを医師に伝えましょう。

(3) ペットに付着して、マダニが家の中に入ってくることもあります！

- 飼育している犬や猫にもダニ駆除剤を使用しましょう。
- できる限り猫は室内飼いにして外に出さないようにしましょう。